

# 水産基盤整備事業

オホーツク管内の第4種漁港は、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避難拠点として重要な役割を担っています。

このことを踏まえ、平成28年度は、「国産水産物の衛生管理や安定供給のための基盤強化対策」、「災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策」を重点的に推進します。

## ◆ ウトロ地区

漁業活動の安全を確保するため、防波堤などの整備を推進します。

## ◆ サロマ湖地区

サロマ湖のホタテガイ漁業を支える湖口航路として、漁船の安全な航行を確保するため、航路などの整備を推進します。

## ◆ 元稲府地区

漁業活動の安全を確保するための防波堤や、ホタテガイの海外輸出促進及び安全・安心な水産物を安定的に供給するため、高度衛生管理に対応した岸壁の整備を推進します。

## ◆ 北海道第3種及び第4種漁港地区

ウトロ漁港、能取漁港及びサロマ湖漁港の長寿命化を図るため、防波堤の補修・調査を行います。



サロマ湖漁港(第2湖口工区)水深4.5m航路浚渫

## 平成28年度 水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	ウトロ地区 (第4種ウトロ漁港)	【ウトロ工区】 外郭施設：島防波堤、西防波堤(改良)、西護岸(改良) 係留施設：水深5.0m岸壁 輸送施設：道路 漁港施設用地：用地
	サロマ湖地区 (第4種サロマ湖漁港)	【第2湖口工区】 外郭施設：護岸(航路西)、護岸(航路東) 水域施設：水深4.5m航路
	元稲府地区 (第4種元稲府漁港)	外郭施設：北防波堤 係留施設：水深3.5m岸壁(改良)
	北海道第3種及び第4種漁港地区	【能取漁港 湖口工区】 外郭施設：防波堤(防氷)(補修)  【能取漁港 能取工区、卯原内工区】 係留施設：水深2.0m物揚場(補修)  【サロマ湖漁港 第1湖口工区】 外郭施設：防波堤(防氷)(補修)